

要求実現へ粘り強く活動する三支部を紹介

三鷹武蔵野 インボイス 公契約は調査結果示し訴え

【三鷹武蔵野・書記・三澤 克己通信員】6月30日、三鷹市議会の本会議にて「インボイス制度の10月からの実施について政府に再考を求める意見書」の請願が、賛成15、反対12で可決されました。過去2年にわたり同趣旨の陳情が否決されたことを教訓に、民商などと一緒に三鷹市議会の全会派へ要請。「インボイスへの理解が進まないうまま、この10月に実施したら大変なことになる」と私達の切実な声を届けました。



また、7月11〜14日にかけて三鷹・武蔵野市議会の各党派と「公契約条例の制定」の助成制度の創設などについて懇談。公契約条例は自治体キャラバンでも訴えてきましたが、両市ともなかなか進展が見られず。そこで、今年度より市発注の公共工事現場でアンケート調査に取り組み、その結果を議員に示したところ、「このような低賃金で働いていることに驚いた」「議会でも活用させてもらいます」と、とても有意義な発言を各党派から引き出すことができました。

支部では、今回の経験を確信に、今後も継続した市長・会派懇談に取り組み、諸要求実現をめざしていきます。

武蔵野市の立憲民主ネット(右上)、日本共産党市議団(左上)と三鷹市の自民クラブ・公明党との懇談の様子



燃料費補助創設へ 市長へ再・再・再要請

小金井 国分寺

【小金井 国分寺 書記・小野寺 和也記】3月に全会一致で採択された小金井市の燃料費補助の陳情を受けて行なった4月の要請では、市長からは「申請方法など要望をききたい」と前向きな回答がありました。しかし、6月市議会の議案には燃料費補助の記載はなかったため、市の経済課に問い合わせると「今回は討議しません」「次は9月議会です」とのこと。このままでは実施されない可能性があるため、小金井市内の建設業団体に連絡。①燃料費補助が全会一致で採択されたこと、②各団体から早期創設の必要性を直接、市長、市議、経済課などへ訴えてもらうなどお願いしました。

東京土建でも、6月8日の議会開催中の昼休み時間に合わせ再度、市長と市議会全会派へ要請。市長からは「都の補助金との調整もあつたので」という返事、市議のみなさんからは前向きな発言をもらいました。結果、6月議会後半では、4人の市議が「小金井市はドーナツ化だ」「市の一般財源でも実現できる」「スピード感を持ち一刻も早い実施を」「前倒しで予算を組むべき」など力強く訴え、市長も「遅くとも9月までに」は「お示ししたい」と回答しました(左の支部機関紙「あしば」号外参照)。

【足立・書記・早川勝久記】7月19日、足立区の次年度予算編成に向けた懇談を区議会主要6党派と実施。組合からは委員長はじめ4人が参加。2本に絞りました。小規模工事登録の問題点



【足立・書記・早川勝久記】7月19日、足立区の次年度予算編成に向けた懇談を区議会主要6党派と実施。組合からは委員長はじめ4人が参加。2本に絞りました。小規模工事登録の問題点

足立 データを元に指摘 特定会社に受注が集中

【足立・書記・早川勝久記】7月19日、足立区の次年度予算編成に向けた懇談を区議会主要6党派と実施。組合からは委員長はじめ4人が参加。2本に絞りました。小規模工事登録の問題点

平山 第一回こだひが杯 小東村 初代王将は田中さん

【小平東村山・書記・吉岡直将記】7月16日に支部事務所にて「第一回こだひが王将杯」を開催。昨年12月、本部の将棋大会の中止を受けて、



山本五段からトロフィーを授与される田中さん(右)

【小平東村山・書記・吉岡直将記】7月16日に支部事務所にて「第一回こだひが王将杯」を開催。昨年12月、本部の将棋大会の中止を受けて、

渋谷に豊島も参加 レース後にBBQで交流



渋谷はピカチュウでアピール

【狛江・書記・高橋那史記】7月16日、手作りのいかだで多摩川を下る「狛江古代カヌー」が開催。コースは多摩川

【狛江・書記・高橋那史記】7月16日、手作りのいかだで多摩川を下る「狛江古代カヌー」が開催。コースは多摩川

このデータを元に懇談を進め、公共工事ならば、公正公平に仕事を発注すべきことを訴えかけました。各党派からは、「こういうデータがある」と私達にも指摘しやすいと改善に向けた発言があり、今後の進展に期待が高まる懇談となりました。